

# 女子短期大学生の靴と足部のサイズ (I)

—— 足部の測定平均値 ——

金野 澄子\*・沖本 由美\*\*

Influence of Foot Sizes on the Health in Women's Junior College Students

—— The Measurements Means of Foot Sizes ——

Sumiko KANO and Yumi OKIMOTO

## 緒 言

靴を履く目的は、足の保護と歩くためのものであったが、現在では衣服の一部としてとらえられて、デザイン、材料及び色彩などの美的要素も目的の一つになっている。その靴を履くことによって、靴ずれ、魚の目、また、腰や下腿部の痛み、足の指の変形及びいろいろするなどの障害をしばしば起こすことがある。

また、「足の裏は第二の心臓である」とか、「老化は足からはじまる」、「疲れは足に出る」などいわれるように、足の裏には重要な働きがあり、足の裏を刺激すれば健康維持はもちろん、病氣も治るといわれている。健康な生活を送るためには足と靴との関係を離して考えることはできない。

しかし、今日でも、一部の民族に裸足の生活が残っているが、現在では靴は一般のものとなって多くの人に履かれている。1962年(昭和37年)頃から、日本の靴の生産高も伸びて諸外国と同じように消費量も多くなりつつある。上記の靴の目的を考慮に入れた「履き心地の良い靴」を求めるために、女子短期大学生の足部の寸法を測定した。なお、JISでは足幅を除外しているが、本調査では足幅も測定した。

## I. 足 の 寸 法

### 1. 測定対象及び方法

#### 1) 対 象

被測定者は、広島文化女子短期大学被服学科の学生

\* 呉女子短期大学生生活学科，呉市阿賀南2丁目10番3号，〒737-01 電話 0823-74-5511

\*\* 生活文化学科

145例，呉女子短期大学生生活学科の学生84例，計229例(18～19歳)を表1に示した。

表1. 被測定者の年齢別例数及び百分率

年 齢	18	19	計 (%)
例数 (%)	39 (17.0)	190 (83.0)	229 (100.0)

注：1986年測定。

#### 2) 測定期

測定は、1986年7月に行なった。

3) 測定項目、測定時の姿勢、測定方法及び測定器具  
測定項目、測定時の姿勢、測定方法及び測定器具は、表2、図1に準じて測定した。

## 2. 結果及び考察

1) 測定平均値、標準偏差値、最大及び最小値  
身長、足長、足幅及び足囲などの平均値、標準偏差値、最大及び最小値を表3に示した。

まず、足長の平均値は、右 22.74 cm, 左 22.76 cm, 差は 0.02 cm で最大値は、右 24.5 cm, 左 25.0 cm で、差は 0.5 cm で左が大である。最小値は、右 18.7 cm, 左 18.6 cm で差は 0.1 cm である。平均値、最小値では大差はない。

足幅の平均値は、右 9.19 cm, 左 9.15 cm, 差は 0.04 cm で最大値は右・左とも 13.5 cm で同じで最小値は、右 6.6 cm, 左 6.7 cm, 差は 0.1 cm で平均値及び最小値とも大差ない。

足囲の平均値は、右 21.86 cm, 左 21.85 cm, 差は 0.01 cm で最大値は、右 27.0 cm, 左 26.8 cm で差は 0.2 cm で最小値は、右 17.5 cm, 左 17.2 cm で差は

表2. 測定項目, 測定方法及び測定器具

項目	測定項目	測定方法	測定器具
高径項目	身長	床面から頭頂点までの垂直距離	身長計(マルチン式)
	胸囲	女子のバストポイントを通る胸部の水平周囲長	巻尺(スチール製)
周径項目	足囲	足の踏み付け部の第1指と第5指の付け根をとりまく長さ	〃
	大腿最大囲	大腿部の最大周囲長	〃
	下腿最大囲	下腿部の最大周囲長	〃
	下腿最小囲	下腿部の最小周囲長	〃
長径項目	足長	かかとの後端から最も長い足指の先端までの距離	杆状計
幅項目	足幅	足の内・外最突出点間の投影距離	〃
	体重		体重計

注：いずれの項目も立位正常姿勢で測定した。

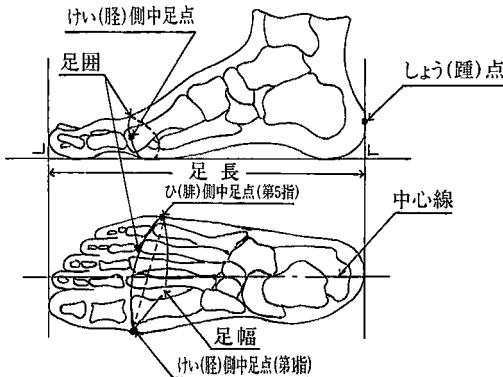


図1. 足長, 足幅及び足囲の測定部位

表3. 測定平均値, 標準偏差値及び最大・最小値 (cm)

項目	平均値	標準偏差値	最大値	最小値
1 身長	157.79	4.76	167.2	142.9
2 胸囲	81.48	5.86	114.0	70.0
3 体重(kg)	51.16	6.52	86.0	37.0
4 足長(右)	22.74	1.10	24.5	18.7
5 足長(左)	22.76	1.11	25.0	18.6
6 足幅(右)	9.19	0.95	13.5	6.6
7 足幅(左)	9.15	0.96	13.5	6.7
8 足囲(右)	21.86	1.17	27.0	17.5
9 足囲(左)	21.85	1.20	26.8	17.2
10 大腿最大囲	51.68	4.53	68.0	43.0
11 下腿最大囲	33.85	2.49	44.3	27.0
12 下腿最小囲	20.83	1.46	25.2	16.5

0.3 cmである。足長の最大値は, 左の方が0.5 cm大である。足幅・足囲についての右・左には大差ない。

2) 足長, 足幅及び足囲の右左の差の例数百分率  
足長, 足幅及び足囲の右・左の差の比較を図2に示した。

足長は, 右=左は41.5%, 右>左は29.7%, その最大の差は0.9 cm, 右<左は28.8%で最大の差は1.2 cmである。

足幅は, 右=左は40.4%, 右>左は32.5%, 最大の差は0.9 cm, 右<左は27.2%で最大の差は0.6 cmである。

足囲は, 右=左は34.5%, 右>左35.4%, 最大の差は1.5 cm, 右<左は30.1%で最大の差は1.2 cmである。足長, 足幅及び足囲の右=左は約40%で, 約60%が右・左に差がある。

3) 身長区分別例数及び百分率

身長区分別例数及び百分率を表4に示した。

被測定者の身長を, 162.1 cm以上を高, 162.0~154.0 cmまでを中, 153.9 cm以下を低と区分した。高・中・低の例数及び百分率をみると, 高41例で17.9%, 中148例で64.6%, 低40例で17.5%である。中に属する例数は多く, 高と低はほぼ同じである。

4) 身長区分別測定平均値, 標準偏差値, 最大及び最小値

身長区分別測定平均値, 標準偏差値, 最大及び最小値を表5に示した。

足長右の高・中・低の比較: 平均値は, 高23.66 cm, 中22.75 cm, 低21.76 cmで高>中>低である。

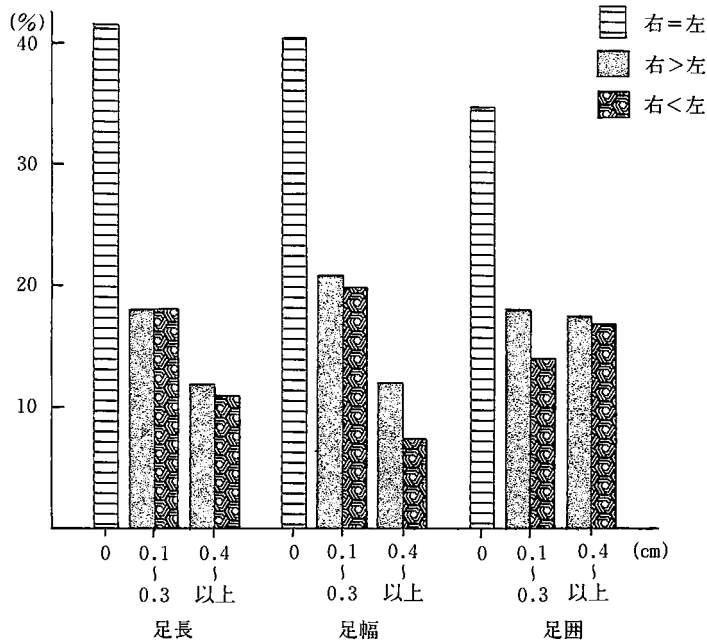


図2. 足長, 足幅及び足囲の右左の差の例数百分率

表4. 身長区分別例数及び百分率

区分	高	中	低	計 (%)
身長 (cm)	162.1 以上	162.0~154.0	153.9 以下	
例数 (%)	41 (17.9)	148 (64.6)	40 (17.5)	229 (100.0)

注: 1986年測定。

最大値は, 高 24.5 cm, 中 24.5 cm, 低 23.5 cm で高 = 中 > 低である。最小値は, 高 22.6 cm, 中 19.4 cm, 低 18.7 cm で高 > 中 > 低である。

足長左の高・中・低の比較: 平均値は, 高 23.73 cm, 中 22.75 cm, 低 21.82 cm で高 > 中 > 低である。最大値は, 高 25.0 cm, 中 24.5 cm, 低 23.5 cm で高 > 中 > 低である。最小値は, 高 22.3 cm, 中 19.5 cm, 低 18.6 cm で高 > 中 > 低である。

足幅右の高・中・低の比較: 平均値は, 高 9.49 cm, 中 9.16 cm, 低 9.00 cm で高 > 中 > 低である。最大値は, 高 13.5 cm, 中 13.5 cm, 低 11.0 cm で高 = 中 > 低である。最小値は, 高 7.8 cm, 中 7.0 cm, 低 6.6 cm で高 > 中 > 低である。

足幅左の高・中・低の比較: 平均値は, 高 9.45 cm, 中 9.12 cm, 低 8.97 cm で高 > 中 > 低である。最大値は, 高 13.5 cm, 中 13.5 cm, 低 11.0 cm で高 = 中

> 低である。最小値は, 高 7.8 cm, 中 7.0 cm, 低 6.7 cm で高 > 中 > 低である。

足囲右の高・中・低の比較: 平均値は, 高 22.46 cm, 中 21.85 cm, 低 21.02 cm で高 > 中 > 低である。最大値は, 高 27.0 cm, 中 25.6 cm, 低 24.5 cm で高 > 中 > 低である。最小値は, 高 20.8 cm, 中 18.4 cm, 低 17.5 cm で高 > 中 > 低である。

足囲左の高・中・低の比較: 平均値は, 高 22.28 cm, 中 21.86 cm, 低 21.10 cm で高 > 中 > 低である。最大値は, 高 26.8 cm, 中 25.4 cm, 低 24.5 cm で高 > 中 > 低である。最小値は, 高 19.8 cm, 中 18.7 cm, 低 17.2 cm で高 > 中 > 低である。

5) 足長, 足幅及び足囲の身長区分別測定平均値の右・左の比較

足長, 足幅及び足囲の身長区分別測定平均値の右・左の比較を図3で示した。

表5. 身長区分別測定平均値, 標準偏差値及び最大・最小値 (cm)

項目		平均値	標準偏差値	最大値	最小値
1 身長	高	164.56	1.37	167.2	162.5
	中	157.87	2.31	162.0	154.0
	低	150.56	2.96	153.9	142.9
2 胸 囲	高	83.06	5.65	108.0	73.1
	中	81.78	5.68	114.0	72.0
	低	78.76	5.96	98.3	70.0
3 体 重(kg)	高	55.41	6.82	86.0	45.0
	中	53.39	5.69	78.0	42.0
	低	45.95	5.62	65.5	37.0
4 足 長(右)	高	23.66	0.56	24.5	22.6
	中	22.75	0.99	24.5	19.4
	低	21.76	1.10	23.5	18.7
5 〃 (左)	高	23.73	0.61	25.0	22.3
	中	22.75	0.99	24.5	19.5
	低	21.82	1.06	23.5	18.6
6 足 幅(右)	高	9.49	0.98	13.5	7.8
	中	9.16	0.93	13.5	7.0
	低	9.00	0.98	11.0	6.6
7 〃 (左)	高	9.45	0.96	13.5	7.8
	中	9.12	0.94	13.5	7.0
	低	8.97	0.99	11.0	6.7
8 足 囲(右)	高	22.46	1.23	27.0	20.8
	中	21.85	1.05	25.6	18.4
	低	21.02	1.86	24.5	17.5
9 〃 (左)	高	22.28	1.30	26.8	19.8
	中	21.86	1.07	25.4	18.7
	低	21.10	1.95	24.5	17.2
10 大腿最大囲	高	53.01	5.30	65.0	43.0
	中	51.63	4.45	68.0	44.0
	低	49.43	2.75	54.5	45.0
11 下腿最大囲	高	34.91	2.20	40.5	31.0
	中	33.85	2.40	40.5	27.0
	低	32.78	2.69	39.2	26.0
12 下腿最小囲	高	21.31	1.19	23.0	19.0
	中	20.98	1.35	25.2	18.0
	低	20.02	1.70	25.0	16.5

足長の高の右 23.66 cm, 左 23.73 cm で差は 0.07 cm で大差ない。中の右・左ともに 22.75 cm である。低の右 21.76 cm, 左 21.82 cm で差は 0.06 cm で大差ない。

足幅高の右 9.49 cm, 左 9.45 cm で差は 0.04 cm で大差ない。中の右 9.16 cm, 左 9.12 cm で差は 0.04 cm で大差ない。低の右 9.00 cm, 左 8.97 cm で差は 0.03 cm で大差ない。

足囲高の右 22.46 cm, 左 22.28 cm で差は 0.18 cm で大差ない。中の右 21.85 cm, 左 21.86 cm で差は 0.01 cm で大差ない。低の右 21.02 cm, 左 21.10 cm で差は 0.08 cm で大差ない。

## 6) 身長に対する足長, 足幅及び足囲の割合

身長に対する足長の割合を表6に示した。

足長右の割合では, 高14.4%, 中14.4%, 低14.5% で高=中<低である。

表6. 身長に対する足長の割合 (%)

身長	足長/身長(全例数)		足長/身長(高・中・低別)	
	右	左	右	左
高 中 低	14.4	14.4	14.4	14.4
			14.4	14.4
			14.5	14.5

表7. 身長に対する足幅の割合 (%)

身長	足幅/身長(全例数)		足幅/身長(高・中・低別)	
	右	左	右	左
高 中 低	5.8	5.8	5.8	5.7
			5.8	5.8
			6.0	6.0

表8. 身長に対する足囲の割合 (%)

身長	足囲/身長(全例数)		足囲/身長(高・中・低別)	
	右	左	右	左
高 中 低	13.9	13.9	13.7	13.5
			13.8	13.9
			14.0	14.0

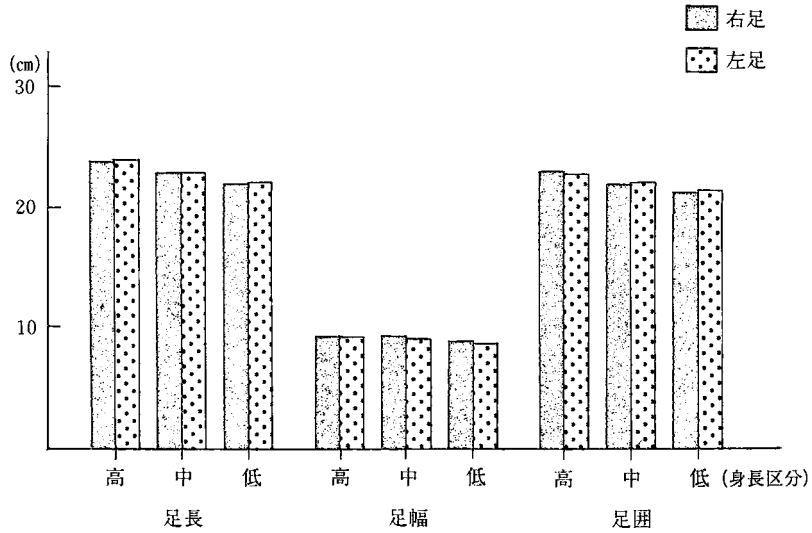


図3. 足長、足幅及び足囲の身長区分別測定平均値の右左の比較

表9. JIS規格「付表2女子用」S5037-1983

単位 mm

足囲 足長 (cm)	A	B	C	D	E	EE	EEE	EEEE
19 ½	183	189	195	201	207	213	219	225
20	186	192	198	204	210	216	222	228
20 ½	189	195	201	207	213	219	225	231
21	192	198	204	210	216	222	228	234
21 ½	195	201	207	213	219	225	231	237
22	198	204	210	216	222	228	234	240
22 ½	201	207	213	219	225	231	237	243
23	204	210	216	222	228	234	240	246
23 ½	207	213	219	225	231	237	243	249
24	210	216	222	228	234	240	246	252
24 ½	213	219	225	231	237	243	249	255
25	216	222	228	234	240	246	252	258
25 ½	219	225	231	237	243	249	255	261
26	222	228	234	240	246	252	258	264
26 ½	225	231	237	243	249	255	261	267
27	228	234	240	246	252	258	264	270

注1: JIS S5037-1983 P3 付表2女子用を転写した。

足長左の割合では、高14.4%、中14.4%、低14.5%  
で高=中<低である。  
全例数の割合では、右・左とも14.4%である。  
身長に対する足幅の割合を表7に示した。  
足幅右の割合では、高5.8%、中5.8%、低6.0%で

高=中<低である。  
足幅左の割合では、高5.7%、中5.8%、低6.0%で  
高く中<低である。  
全例数の割合では、右・左とも5.8%である。  
身長に対する足囲の割合を表8に示した。

足囲右の割合では、高13.7%、中13.8%、低14.0%で高く中く低である。

足囲左の割合では、高13.5%、中13.9%、低14.0%で高く中く低である。

全例数の割合では、右・左とも13.9%である。

## II. 靴のサイズ

### 1. 足長、足幅及び足囲の例数分布

1) JIS規格「付表2女子用」S5037-1983を表9に示した。注：1

足長、足囲の例数分布は、S5037-1983を参考に示した。なお、足幅は、足長、足囲に準じた。：足長の間隔は、5mm、同じ足長に対する隣接する足幅の差は5mmとし、下記のような範囲で例数分布を試みた。

例 足長19.5cmの場合(mm)

A183以下、B184~189、C190~195、D196~201、E202~207、EE208~213、EEE214~219、EEEE

220~225以上とした。

2) 足長、足幅及び足囲の例数分布の右・左の比較  
足長、足幅の例数分布を図4、5に示した。：例数の多い集合群は、右148例(64.6%)、左145例(63.3%)、その範囲は足長で右・左とも22~24cm、足幅は右・左とも8.5~10.0cmである。さらに、その範囲外の足長、足幅についてみると、足長の範囲よりも大のものが右の方が少なく、足幅の小のものは右の方が少ない。

足長、足囲の例数分布を図6、7で示した。：例数の多い集合群は、右132例(57.6%)、左118例(51.5%)、その範囲は足長で右・左とも22½~24cm、足囲では右・左ともB~Eである。さらに、その範囲外の足長、足囲についてみると、足長の範囲より大のものが右の方が少なく、足囲は小のものが右の方が少ない。足長、足幅及び足囲の右・左間には大差ない。

3) 本調査と日本人体格調査の身長他4項目の測定

足長(cm) \ 足幅(cm)	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	計	%
19½		1	2													3	1.3
20			3		1											4	1.8
20½		3				1										4	1.8
21				4	4											8	3.5
21½			2	3	4	5	3									17	7.4
22			2	2	4	5	5	3	1							22	9.6
22½				1	4	12	7	4	3							31	13.5
23				3	5	9	10	18	3	2	1					51	22.2
23½				1	4	8	10	10	6	2					2	43	18.8
24				1	3	9	8	10	2	1						34	14.9
24½						1	6	2	3							12	5.2
25																	
25½																	
26																	
26½																	
27																	
計		4	9	15	29	50	49	47	18	5	1				2	229	
%		1.8	3.9	6.6	12.7	21.7	21.4	20.5	7.9	2.2	0.4				0.9		100.0

注：太枠内は例数の多い集合群

図4. 足長及び足幅の例数分布(右足)

足幅 (cm) \ 足長 (cm)	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	計	%
19½		1	2													3	1.3
20			2		1											3	1.3
20½		2	1	1		1										5	2.2
21			2	5	1	1										9	3.9
21½			1	2	4	2	3		1							13	5.7
22		1	2	1	4	3	7	3	1							22	9.6
22½				2	8	13	8	3	3	2						39	17.0
23				2	1	13	10	14	1	1					1	43	18.8
23½				2	6	5	11	13	6	2					1	46	20.1
24				1	1	10	8	4	2	1						27	11.8
24½						4	5	6	2	1						18	7.9
25						1										1	0.4
25½																	
26																	
26½																	
27																	
計		4	10	16	26	53	52	43	16	7					2	229	
%		1.8	4.4	7.0	11.4	23.0	22.6	18.8	7.0	3.1					0.9		100.0

図5. 足長及び足幅の例数分布 (左足)

値を比較し表10に示した。

日本人体格調査第Ⅰ・Ⅱ回(昭和42・56年)を比較すると各項目とも第Ⅱ回の方がやや大である。

本調査と第Ⅱ回を比較すると、身長、体重においては、本調査の方が(身長157.79cm、体重51.16kg)やや大で、胸囲、大腿最大囲、足長は大差ない。

### III. 靴売場の調査

#### 1. 調査対象及び寸法

##### 1) 対象・場所

18~19歳。

広島市内のデパート三社(A・B・C)の婦人靴売場。

##### 2) 調査期日

調査は、1987年12月に行なった。

##### 3) 調査項目

靴のサイズの売れ行き傾向・色・価格。

#### 2. 調査結果

##### 1) サイズの売れ行き傾向

サイズの売れ行き傾向は、3社とも最近では23cmから23½cmへと移行する傾向で、足囲は、E・EEの売れ行きである。

##### 2) 色の売れ行き傾向

色の売れ行き傾向は、三社ともに黒が多い(季節に関係があると思われる)。

##### 3) 価格(千円単位)

若い人向き、6~10、おしゃれ履き・通勤履き、10~20、高級靴(国産)30前後、輸入高級靴、120前後、特売品、3~10程度で以上のような調査結果を得た。

足長(cm) \ 足囲	A	B	C	D	E	EE	EEE	EEEE	計	%
19½				1	1	1			3	1.3
20			1		2			1	4	1.8
20½				2		2			4	1.8
21				3	1	1	2	1	8	3.5
21½		1	2	5	5	2	2		17	7.4
22	2	1	3	4	3	3	3	1	20	8.7
22½	3	4	8	4	9	2		1	31	13.5
23	2	12	11	10	5	6	2	1	49	21.4
23½		9	8	18	8	2		1	46	20.1
24	4	5	6	7	8	4		2	36	15.7
24½			4	4	1	2			11	4.8
25										
25½										
26										
26½										
27										
計	11	32	43	58	43	25	9	8	229	
%	4.8	14.0	18.8	25.3	18.8	10.9	3.9	3.5		100.0

注：太枠内は例数の多い集合群。足長 19 cm 以下は 19½ cm に含める。

図 6. 足長及び足囲の例数分布 (右足)

足長(cm) \ 足囲	A	B	C	D	E	EE	EEE	EEEE	計	%
19½				1			2		3	1.3
20			1		1			1	3	1.3
20½			1	1	2			1	5	2.2
21				3	2	2	1	1	9	3.9
21½	2			7	2		1	2	14	6.1
22	4	1	4	2	4	4	1	2	22	9.6
22½	3	2	9	6	11	3	4		38	16.6
23	3	7	7	14	4	5	3	1	44	19.3
23½	3	8	11	13	7	4		1	47	20.5
24	5	4	9	4	2		1	1	26	11.4
24½	1		5	6	4	1			17	7.4
25		1							1	0.4
25½										
26										
26½										
27										
計	21	23	47	57	39	19	13	10	229	
%	9.2	10.0	20.5	24.9	17.0	8.3	5.7	4.4		100.0

図 7. 足長及び足囲の例数分布 (左足)



表10. 本調査と日本人体格調査の身長ほか4項目の測定値の比較

(cm)						
	年齢(歳)	身長	胸囲	大腿最大囲	足長	体重(kg)
第Ⅰ回 1967年 (S. 42) 日本人体格調査	18	154.78	80.89	51.52	22.52	49.81
	19	154.61	81.08	51.04	22.43	50.03
第Ⅱ回 1981年 (S. 56) 日本人体格調査	18	156.19	81.31	52.17	22.70	50.74
	19	156.44	81.59	52.15	22.71	50.86
本調査 1986年 (S. 61)	18~19	157.79	81.48	51.68	22.74	51.16

表11. 靴のサイズの売れ行き状態 (年齢の区別なし)

順位 デパート	足長 (cm)			足囲	
	1	2	3	E	EE
A	23.5	23.0	22.5	E	EE
B	23.0	23.5	22.5	E	EE
C	23.0	23.5	22.5	E	EE

とも14.4%, 5.8%, 13.9%である。

6. JIS規格「付表2女子用 S5037-1983」についてみると、足長は19½~27 cm。5 mm 区分、足囲は足長19½ cmが183~225 mmで6 mm 区分、27 cmが228~270 mmでこれも6 mm 区分である。

本学の足長の分布範囲は19½~25 cm、足囲は足長19½ cmが183~225 mm、25 cmが216~258 mmである。足囲270 mm以上はEEEEに含める。

今回の調査で得られた結果から、年齢、職業、測定時刻、運動群、非運動群等の足長、足幅及び足囲などが健康と密接に関係があると考えられるので、これらについて今後継続的に調査する。

## 結 語

靴は、私どもの健康にかかわりあいを多くもつものである。今回は、女子短期大学生を対象に足部を測定し、なお、1983年に改正された靴のJISサイズを参照した。

1. 本調査と第Ⅱ回日本人体格調査の測定値についてみると、本調査の身長と体重はやや大で、他の項目は大差ない。

2. 足長の平均値は(右)22.74 cm、(左)22.76 cm、足幅(右)9.19 cm、(左)9.15 cm、足囲(右)21.86 cm、(左)21.85 cmである。

3. 足長、足幅及び足囲の左右差が殆んどないものが足長で約50%、足幅約52%、足囲約40%である。

4. 最大値は足長(右)24.5 cm、(左)25.0 cm、足幅は右左とも13.5 cm、足囲(右)27.0 cm、(左)26.8 cm、足長で0.5 cmの差をみたが、足幅、足囲はほぼ同じである。最小値は足長(右)18.7 cm、(左)18.6 cm、足幅(右)6.6 cm、(左)6.7 cm、足囲(右)17.5 cm、(左)17.2 cmでいずれも大差ない。

5. 身長に対する足長、足幅及び足囲の割合は右左

## 謝 辞

おわりに、本研究に際して、終始ご懇切にご指導下さいました元広島文化女子短期大学教授藤田光子先生に深謝申し上げます。

また、測定にご協力下さいました広島文化学園の学生ならびにデパートの婦人靴売場で資料を提供して下さいました売場の方に厚くお礼申し上げます。

## 引用文献

- 1) 日本工業標準調査会審議：靴のサイズ JIS S 5037-1983, p.3 注：1
- 2) 日本人の体格調査報告書——衣料の基準寸法設定のための——工業技術院(財)日本規格協会 1973
- 3) 日本人の体格調査報告書——既製衣料の寸法作成のための——1978~1981年 通商産業省工業技術院(財)日本規格協会 1984

### Summary

In 1986, we took measurements of the feet of 229 women's junior college students and compared our data with JIS sizes which were revised in 1983.

1. A comparison of our data with the measurements obtained in the Second Survey of Japanese Physique revealed that there was no remarkable difference between them except in the items of stature and weight where our data showed slightly larger values.
2. The measurements means were as follows: foot length, 22.74 cm (right), 22.76 cm (left); foot width, 9.19 cm (right), 9.15 cm (left); foot girth, 21.86 cm (right), 21.84 cm (left).
3. About 50% of foot length, about 52% of foot width, and about 40% of foot girth were the same between right and left.
4. The maximums were as follows: foot length, 24.5 cm (right), 25.0 cm (left); foot width, 13.5 cm (right and left); foot girth, 27.0 cm (right), 26.8 cm (left). Foot length showed a difference of 0.5 cm between right and left, while foot width and foot girth were the same or nearly the same.

The minimums were as follows: foot length, 18.7 cm (right), 18.6 cm (left); foot width, 6.6 cm (right), 6.7 cm (left); foot girth, 17.5 cm (right), 17.2 cm (left). There was no remarkable difference of minimum between right and left.

5. The ratios of foot length, foot width and foot girth (right and left) to stature were as follows respectively: 14.4%, 5.8% and 13.9%.
6. In JIS sizes (Attached List 2: for Women, S5037-1983), foot length was  $19\frac{1}{2}$ ~27 cm with  $\frac{1}{2}$  cm divisions, and foot girth was 183~225 mm for  $19\frac{1}{2}$  cm with 6 mm divisions and 228~270 mm for 27 cm also with 6 mm divisions.

In our data, foot length was distributed between  $19\frac{1}{2}$ ~25 cm, and foot girth, between 183~225 mm for  $19\frac{1}{2}$  cm foot length, and 216~258 mm for 25 cm foot length.